4 月 25 日：VN 指数は大きく反落、一時 1,300 ポイントを割り込む

週明けの VN 指数は売り優勢となり、大きく反落した。多くの銘柄がストップ安をつけた。

ホーチミン市場の VN 指数は 4.95％（68.31 ポイント）安の 1,310.92 ポイントで取引を終えた。午後の取引では一時 1,300 ポイントを割り込む場面があった。同指数は先週 5.44％下落していた。

騰落別では 443 銘柄が下落、そのうち 181 銘柄がストップ安をつけた。出来高は少なく、売買高は約 7 億 6,300 万株、売買代金は約 21 兆 9,500 億ドン（9 億 5,480 万米ドル）となった。

投資家心理は悪化し、幅広いセクターが売られた。VN 30 指数は 5.4％（77.93 ポイント）安の 1,366.39 ポイントで取引を終えた。

騰落別では VN30 指数の 30 銘柄全てが下落し、そのうち 16 名柄がストップ安をつけた。

値下がり寄与度上位 10 銘柄のうち、ペトロベトナムガス（GAS）、ホアファットグループ（HPG）、ベトナム投資開発銀行（BID）、VP バンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）といった 9 銘柄がストップ安をつけた。マサングループ（MSN）も 5.92％安と大きく値を下げた。ビングループ銘柄のビングループ（VIC）-1.93％、ビンホームズ（VHM）-2.63％、ビンコムリテール（VRE）-5.99％も弱かった。

「テクニカル面では VN 指数はかなり弱含んでおり、現在 1,350 ポイントの鍵となる下値支持線残されている。もし VN 指数がこの下値支持線で踏み留むことができなければ、VN 指数は 1,200 ポイントのさらなる下値に向かう可能性がある」（サイゴンハノイ証券のアナリストの顧客向けレター）

ハノイ市場の HNX 指数は午前中落ち着いた値動きだったが、午後に入り下落した。同指数は 6.02％（21.61 ポイント）安の 337.51 ポイントで取引を終えた。

売買高はおよそ 1 億 836 万株、売買代金は 2 兆 3,000 億ドンを超えた。

外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で合わせて 2,290 億ドン以上を買い越した。買い越し額はホーチミン市場で 2,146 億 6,000 万ドン、ハノイ市場で 144 億 1,000 万ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。